

岡山の 大学へ 行こう

vol. ① 地元大学の魅力

将来の夢を実現させるためには、自分自身の力を大きく伸ばしてくれる大学を選ぶことが大切です。岡山県内には地元進学の特長を生かして、個性豊かなカリキュラムと研究施設を備えた大学・短大がそろっています。「岡山の大学へ行こう」3回シリーズの第1回は、特色ある学部・学科、独自の取り組みなど県内大学の魅力を紹介します。

川崎医療福祉大学・川崎医療短期大学



作業療法学科の実習風景

川崎医療福祉大学は5学部17学科体制で「医療福祉人」の育成に力を注いでいます。このうちリハビリテーション学部は理学療法、作業療法、言語聴覚療法、視能療法の4学科を備え、各分野の専門職を養成します。

リハビリテーションの目的は、けがをした人や高齢者、障害者の運動機能の回復だけではなくありません。環境面の制約にも対応し、職場や学校、地域に復帰して自分らしい生活を送ることを目指します。国が進める地域包括ケアシ

実習豊富なリハビリテーション学部

専門性高い医療福祉人を育成

テムや医療福祉の理念と共通する部分が多く、國安勝司・同学部長は「医療・保健領域を担うリハビリテーション専門職のほか、教育・福祉・生活領域を担う専門職やボランティアグループ、地域住民が関わることで本来のリハビリテーションが実現する」と話します。

4学科の学生が目指す専門職は「理学療法士」は立つ、歩くといった運動機能の維持・回復に加え、近年はスポーツ医学や介護予防の分野にも貢献しています。

「作業療法士」は身体や精神に障害を抱えた人に対し、食事から趣味まで目標の日常生活ができるよう支援します。

「言語聴覚士」は言語聴覚機能の維持向上、摂食・嚥下障害に対応します。

「視能訓練士」は弱視や斜視の矯正、眼科検査を担当。同大は中四国で唯一の視能訓練士養成校です。

他学のない特長は、隣接の川崎医科大学附属病院と、同総合医療センターという系列

の二つの大病院を実習施設にもち、1年次から臨床現場に触れる機会が多いこと。生きた知識とスキルが身に付きます。大学生活の中で他学部・他学科の仲間と交流し、多種連携の素養を培えるのも強みといえるでしょう。

超高齢社会にあって、卒業生は「即戦力」として高い就職率を誇り、医療機関のみならず、福祉施設など地域に活躍の場を広げています。



川崎医科大学附属病院で行う理学療法学科の実習風景

〒701-0193 倉敷市松島288
川崎学園アドミッションセンター
☎(086)464-1064